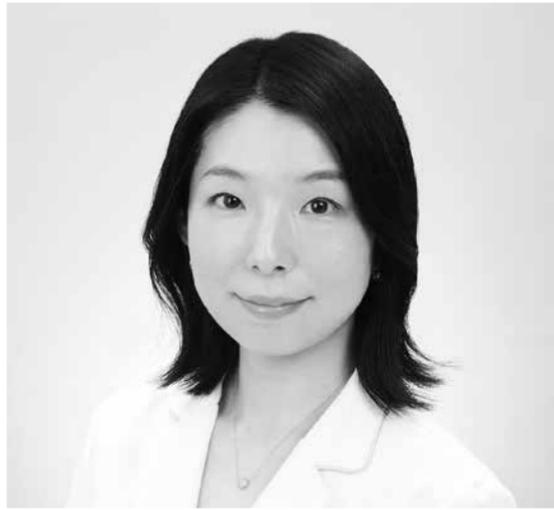


ICE 個人向け美容プラットフォームに参入、iPSコスメで「ファン経済」開拓へ



取締役 加賀谷梨恵 氏

化粧品OEM事業を手掛けるICE(本社東京都新宿区、阪本欣也代表)が、個人向けの新しいサービスに乗り出す。従来のオーダーメイド商品の枠を超え、「iCAM private cellar(アイカム・プライベート・セラー)」と名付けた会員制プラットフォームを新たに構想し、本人のiPSから生み出した美容製品などを軸に、顧客との長期的な関係構築を目指す。同社はこれまで化粧品開発・製造で培った技術力を武器に、OEM事業を展開してきた。新サービスでは、こうした自社製品を「日本発の価値ある商品」として位置づけ、「コレクション」として楽しめる仕組みを整える。背景にあるのは、世界的に広がる「ファン経済」の潮流だ。商品の機能性だけでなく、ブランドの世界観や物語性に共感する消費者が増えている。同社は日本の消費者が持つ「目利き」の感性と、この新しい消費行動を結びつけることで、美容・ウェルネス分野に新たな市場を創出する狙いだ。加賀谷梨恵取締役は、iCAM構想の主要な概要と今後の展望を語った。

デジタル空間にコレクション展示 数十兆円の「推し活」市場に照準

iCAM private cellarは、1企業と協業し、セラー・ウィンキーやヴィンテージ・コスメ、限定フィギュアなど所有者にとって「希少価値が高い」と定評されるコレクションアイテムを、デジタル空間で展示・売買できるプラットフォーム構想だ。自分だけの特別なワインセラーのような空間をウェブ上の「セラー」に設け、会員制で信頼できる仲間とシェアしながら、売買まで可能にする。

同プラットフォームでは単なる展示にとどまらず、認可を持つパートナー企業と協業し、セラー内での販売や譲渡を現実させ、コレクションを市場価値のある製品として流通させるエコシステムを構築する。

「現代の住宅事情において、物理的なコレクションルームを持つことは容易ではないが、デジタルの世界に拡張されたiCAM private cellarならば、スペースの制約がない。『秘密基地』への憧れとコレクションを『見せびらかしたい』という双方の承認の技術」というテーマを掲げている。

同社は高度なバイオ技術を用いた化粧品OEM事業で「お茶の間」に最高級の技術を」というテーマを掲げている。

同社は「iCAM private cellar」で預かるものの中核が、本人のiPSから生み出した美容製品であり、その代価となるのが「iCAM private cellar」の「お茶の間」に最高級の技術を」というテーマを掲げている。

同社が次に狙うのは「本人由来の次世代の逸品」だ。

iCAM private cellarは、海外在住15年の経験を持つ。日本には世界が知らない素晴らしいモノや技術が眠っている。彼らが求めるのは、ストーリーと確かな技術に裏打ちされた「知り尽くした逸品」だ(加賀谷氏)。

「日本製」を大前提とした商品だ。

「職人が魂を込めた工芸品や独自技術を持つ町工場のカシメ、地方大学の限定ウイスキーと酒造の限定ウイスキーといったアイテムは、世界的に見れば極めてニッチな存在だが、インターネットと物流が発達した今、ニッチこそ最強の武器を描く。

「地方にお金が落ち、若者が誇りを持って働ける場所が生まれる」。加賀谷氏はこう展望を語る。

同社はこれまでもユース世代のスポーツアカデミー支援など、次世代育成や地域貢献に取り組んできた。今回の構想にも、日本の産業構造を「高付加価値型」へ転換させる狙いがある。

「大企業がやらない、やれないことをやるのが我々の役割であり、マスビジネスとは対極の戦略を進めていく。100万人に1つずつ売るのは、唯一無二の価値を持つ製品を生み出す。従来の地産地消の植物エキスを配合し、

これまでに15年以上にわたって同社が化粧品OEM工場を運営する中で、秋葉原系のファングッズコスメやアニメ・ゲームキャラクターとのコラボ商品、有名アーティストや女優プロデュースのコスメなど、ニッチな分野で企画製造を手掛けてきた。

この経験を活かして、同社が次に狙うのは「本人由来の次世代の逸品」だ。

「iCAM private cellar」の「お茶の間」に最高級の技術を」というテーマを掲げている。

同社は「iCAM private cellar」で預かるものの中核が、本人のiPSから生み出した美容製品であり、その代価となるのが「iCAM private cellar」の「お茶の間」に最高級の技術を」というテーマを掲げている。

「iCAM private cellar」の「お茶の間」に最高級の技術を」というテーマを掲げている。

同社は「iCAM private cellar」で預かるものの中核が、本人のiPSから生み出した美容製品であり、その代価となるのが「iCAM private cellar」の「お茶の間」に最高級の技術を」というテーマを掲げている。

iPS美容からペットケアまで「iCAM構想」が描く新戦略

「ファンにとっては使いたくないけど、お茶の間」に最高級の技術を」というテーマを掲げている。

同社は「iCAM private cellar」で預かるものの中核が、本人のiPSから生み出した美容製品であり、その代価となるのが「iCAM private cellar」の「お茶の間」に最高級の技術を」というテーマを掲げている。

「iCAM private cellar」の「お茶の間」に最高級の技術を」というテーマを掲げている。

同社は「iCAM private cellar」で預かるものの中核が、本人のiPSから生み出した美容製品であり、その代価となるのが「iCAM private cellar」の「お茶の間」に最高級の技術を」というテーマを掲げている。



領域横断の経験から生まれた「日本モノ」復権への挑戦

iCAM private cellarは、海外在住15年の経験を持つ。日本には世界が知らない素晴らしいモノや技術が眠っている。彼らが求めるのは、ストーリーと確かな技術に裏打ちされた「知り尽くした逸品」だ(加賀谷氏)。

「iCAM private cellar」の「お茶の間」に最高級の技術を」というテーマを掲げている。

同社は「iCAM private cellar」で預かるものの中核が、本人のiPSから生み出した美容製品であり、その代価となるのが「iCAM private cellar」の「お茶の間」に最高級の技術を」というテーマを掲げている。

ストーリーある「日本製」の埋もれた逸品を世界へ

iCAM private cellarは、海外在住15年の経験を持つ。日本には世界が知らない素晴らしいモノや技術が眠っている。彼らが求めるのは、ストーリーと確かな技術に裏打ちされた「知り尽くした逸品」だ(加賀谷氏)。

iCAM private cellarは、海外在住15年の経験を持つ。日本には世界が知らない素晴らしいモノや技術が眠っている。彼らが求めるのは、ストーリーと確かな技術に裏打ちされた「知り尽くした逸品」だ(加賀谷氏)。

iCAM private cellarは、海外在住15年の経験を持つ。日本には世界が知らない素晴らしいモノや技術が眠っている。彼らが求めるのは、ストーリーと確かな技術に裏打ちされた「知り尽くした逸品」だ(加賀谷氏)。

iCAM private cellarは、海外在住15年の経験を持つ。日本には世界が知らない素晴らしいモノや技術が眠っている。彼らが求めるのは、ストーリーと確かな技術に裏打ちされた「知り尽くした逸品」だ(加賀谷氏)。



東京農業大学 生物産業学部 食香粧化学科と産学連携



ICEアンバサダーに桑田真澄氏が就任

桑田真澄氏・経歴

1968年兵庫県生まれ 大阪府出身VPL学園高校で甲子園に5季連続出場(優勝2回、準優勝2回、通算20勝)▽1985年ドラフト1位で読売巨人軍入団。2年目に沢村賞獲得。その後、最多奪三振王、MVP、最優秀防御率2回、ゴールデングラブ賞8回(セ・リーグ最多)、ベストナイン1回▽2007年ピッチャー・パイレーツでメジャー初登板を果たす。2008年現役引退。通算173勝。▽引退後、2010年に早稲田大学院スポーツ科学研究科修士課程を修了。2014年から東京大学大学院総合文化研究科中澤公孝研究室(身体運動科学分野)で特任研究員。▽その後、2021年から読売巨人軍一軍投手チーフコーチ(ファーム総監督、二軍監督(昨年優勝))を経て、2026年オアシックス新潟アルビレックスBCのCB(チーフ・ベ이스ボール・オフィサー)に就任

1968年兵庫県生まれ 大阪府出身VPL学園高校で甲子園に5季連続出場(優勝2回、準優勝2回、通算20勝)▽1985年ドラフト1位で読売巨人軍入団。2年目に沢村賞獲得。その後、最多奪三振王、MVP、最優秀防御率2回、ゴールデングラブ賞8回(セ・リーグ最多)、ベストナイン1回▽2007年ピッチャー・パイレーツでメジャー初登板を果たす。2008年現役引退。通算173勝。▽引退後、2010年に早稲田大学院スポーツ科学研究科修士課程を修了。2014年から東京大学大学院総合文化研究科中澤公孝研究室(身体運動科学分野)で特任研究員。▽その後、2021年から読売巨人軍一軍投手チーフコーチ(ファーム総監督、二軍監督(昨年優勝))を経て、2026年オアシックス新潟アルビレックスBCのCB(チーフ・ベ이스ボール・オフィサー)に就任

「健康寿命の最長化」 「人生100年時代の80年をアクティブに」 「心を豊かに」という経営理念に紐づくアンバサダー

故郷の天然水で製造したスキンケア製品を「バイオ・ブランド化する。こうした取り組みは、単なるパーソナライゼーションを超えた『生命の物語』を商品に宿らせる」(加賀谷氏)

「線」の関わりを創出する。地方都市に会員制の「バイオ・レジデンス」を整備し、来日したゲストは本人から作った製剤を活用した美容医療サービスを受けながら、地域や温泉、文化体験を通じて心身を整える。地方は「高度なバイオ」の歩みや功績を細胞という形で未来へ手渡す取り組みを創出する。

「研究が個人生まれの製剤を磨き上げる『研究開発型工場』となり、生まれたい的財産が地域に帰属することで、大学の経営基盤強化と研究の社会実装を同時に実現する。これによって、卒業生の地域内就職先創出にもつながり、高度人材流出の防壁となる可能性

「研究が個人生まれの製剤を磨き上げる『研究開発型工場』となり、生まれたい的財産が地域に帰属することで、大学の経営基盤強化と研究の社会実装を同時に実現する。これによって、卒業生の地域内就職先創出にもつながり、高度人材流出の防壁となる可能性

「研究が個人生まれの製剤を磨き上げる『研究開発型工場』となり、生まれたい的財産が地域に帰属することで、大学の経営基盤強化と研究の社会実装を同時に実現する。これによって、卒業生の地域内就職先創出にもつながり、高度人材流出の防壁となる可能性

「研究が個人生まれの製剤を磨き上げる『研究開発型工場』となり、生まれたい的財産が地域に帰属することで、大学の経営基盤強化と研究の社会実装を同時に実現する。これによって、卒業生の地域内就職先創出にもつながり、高度人材流出の防壁となる可能性

大学・自治体・企業の三位一体で 地方発バイオの国際競争力へ

「研究が個人生まれの製剤を磨き上げる『研究開発型工場』となり、生まれたい的財産が地域に帰属することで、大学の経営基盤強化と研究の社会実装を同時に実現する。これによって、卒業生の地域内就職先創出にもつながり、高度人材流出の防壁となる可能性

IPS技術×精油芳香設計で スポーツビューティの新領域へ

「研究が個人生まれの製剤を磨き上げる『研究開発型工場』となり、生まれたい的財産が地域に帰属することで、大学の経営基盤強化と研究の社会実装を同時に実現する。これによって、卒業生の地域内就職先創出にもつながり、高度人材流出の防壁となる可能性

ウェルビーイングとの親和性が高い 桑田氏がICEアンバサダーに就任

「研究が個人生まれの製剤を磨き上げる『研究開発型工場』となり、生まれたい的財産が地域に帰属することで、大学の経営基盤強化と研究の社会実装を同時に実現する。これによって、卒業生の地域内就職先創出にもつながり、高度人材流出の防壁となる可能性

iPS Complex Dr.™ logo and QR code